

開催レポート 「知立の未来を考える 市民ワークショップ（第2回）」



開催概要

知立市を魅力的で将来にわたって幸せな暮らしが実現できるようなまちにするため、市民の皆さんに参加いただき、「知立の未来を考える 市民ワークショップ（第2回）」を開催しました。ワークショップの成果は、第7次知立市総合計画の検討の場に提示され、計画に反映されます。

- ◆日時：2023年11月3日(金・祝) 10:00~12:00
- ◆会場：パティオ池鯉鮒 花しょうぶホール
- ◆参加者数：20名



当日のプログラム

■ 第2回テーマ「知立市で実現したい理想の暮らし」

- ①挨拶/趣旨説明
知立市が策定する総合計画と検討スケジュールについて説明しました。
- ②ガイダンス
担当スタッフを紹介しました。ワークショップの目的やルールを説明しました。
- ③ワーク
主人公ごとに知立市の魅力を活かした理想の暮らしを考えました。
- ④ワーク
グループでの意見交換を通して、理想の暮らしが実現できるまちのキャッチフレーズを考えました。
- ⑤成果発表
考えたキャッチフレーズとその理由を全員が発表しました。
- ⑥投票・意見交換
参加者が共感できるキャッチフレーズに投票し、全体で共有しました。



こんなキャッチフレーズが生まれました！

参加者の皆さんはグループでの意見交換を通して、理想の暮らしのキャッチフレーズを考えました。ここには共感意見の多かったキャッチフレーズ等を抜粋して掲載します。

「子育てがひと段落した人が「町育て」できるまち」

- ボランティアとして、子育て世代のサポートや町の美観づくりなどに活躍できる！

「育ちざかりの小学生・中学生が知立を自慢できるまち」

- 友達同士で集える場所がたくさんあることを、市外の人にも自慢できるようなまちになってほしい！



「名古屋に通勤する若い人が早く帰って仲間と地元でワイワイしたいまち」

- 交通の拠点であることを活かし、対面で会える機会づくり
- 市民サークルの支援がまちづくりにつながり、定住にもつながる！



「2人暮らしの高齢夫婦が安心して暮らせるまち」

- 運動習慣が身につけられ、困った時には相談したり、買い物や病院に行きやすいまち！

感想

短い時間でしたが活発な意見交換ができ、参加者の皆さまからは、前向きな感想を多くいただきました。

- それぞれの年代がいろいろな思いをもっており、未来の知立市への熱い思いが伝わってきました。
- 市内の方とお話する機会がなくて、今回このきっかけがあって良かったです。
- まちづくりで重要にすべきことを、各参加者の目線から聞けて良かったです。

次回予告

- 日時：12月9日(土)
場所：パティオ池鯉鮒 講義室
テーマ
- ①「女性が活躍するまち」
 - ②「知立駅周辺の魅力づくり」
 - ③「知立市での定住」

